

## 大学構内で蜂が確認されました

草が繁茂し、草刈りの必要な時期が、蜂に刺される最も危険な時期です  
**気温が高くなり、活動が活発になっています**



11~18mm

黒スズメバチ(地蜂)  
地中に巣がある  
攻撃性が高い



21~30mm

スズメバチ  
攻撃性が高い



21~26mm

アシナガバチ  
比較的大人しい



9~11mm

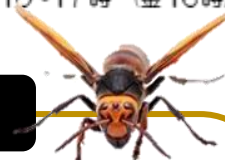
ミツバチ  
大人しい  
針に返しがあり  
毒囊が残る

### 【予防】

- ①蜂の巣や蜂に近づかない
- ②黒地の着衣を避ける(できるだけ白色系がよい)
- ③肌の露出をなくす
- ④香水や化粧品、整髪料を控える
- ⑤蜂や巣に遭遇しても、大きな声を出したり手足で追い払ったりしない 静かに・速やかに・その場を離れる
- ⑥自然の多い場所に出かける時は、ポイズンリムーバー、抗ヒスタミン入りステロイド軟膏、保冷剤などを準備すると安心
- ⑦1回蜂に刺された方は、2回目以降、蜂毒に起因する「アナフィラキシーショック」(抗原抗体反応)により死亡に至る場合もありますので、補助治療剤のアドレナリンの自己注射器(エピペン)を医師に処方してもらう



## 蜂に刺された時の応急処置



慌てず冷静に対処 ※刺激しないようゆっくり10~20m逃げる

### ハチに刺されたときの応急処置

- ① 症状の確認
- ② ハチの針を抜く
- ③ 流水で毒を取り除く
- ④ 薬をぬる
- ⑤ 冷やす



患部に口をあてて毒を吸い出したりオシッコをかける行為はNG!

※全身症状が出たらすぐに病院へ!

毒液に蜂の仲間を呼び警戒フェロモンがある



カードで横から払い針を抜く

- ①症状観察 局所(発赤・腫脹・疼痛)と全身症状(直後と翌日以降)
- ②残った針を指でつまむと毒囊を圧迫してしまうので毛抜き又は硬いカードなどで横に払いこすり取り毒囊を潰さない
- ③毒の回りを防ぐ※ 刺された人は**動かない**
  - ポイズンリムーバーがあれば、2分以内に毒を吸出だす 吸ったまま **10分**程度置く (※毒をきちんと吸い出) 決して口で吸わない
  - 刺された部分を**水で洗い流す**
  - 抗ヒスタミン成分を含むステロイド軟膏があれば塗る
  - 保冷材などをガーゼ包み冷やす 処置後は受診
- ④アナフィラキシーショックの兆候 (発疹・全身熱感・咳・息苦しい・眼がくらむ・吐気・腹痛等) 足を挙上し、アドレナリン注射があればその場で使用 至急、静かに受診

